

教室3 情報発信プロジェクト「絵と文字で伝える地域のストーリーづくり」 第1回レポート

教室3は、情報発信プロジェクト「絵と文字で伝える地域のストーリーづくり」。

講師である漫画家の辻村レコさんと、高知大学地域協働学部学生の高橋萌瑛さんから、この教室のゴールが「かるた」の完成であることと、授業の進め方について説明がありました。ただ単にかるたを作るだけではなく、かるたの使い方、かるたを使って地域を元気にする方法も併せて考えていきます。



続いて、講師のお二人の自己紹介。高橋さんは、学生ながらグラフィックレコーダーとして活躍されています。グラフィックレコーディングとは、会議などの内容を絵と文字を使って可視化して整理するものです。実際の成果品を見せてもらいましたが、受講生からは「おーっ!」「その場で書き上げるんですね?すごい!」と歓声が上がっていました。

辻村さんは漫画家として活躍されています。第78回ちばてつや賞にも入賞しており、入賞作品も紹介していただきました。ご自身の人柄が表れているような温かみを感じる絵でした。辻村さんの「絵が苦手な人でもその人にしか描けない絵があり、決して真似できないもの。その絵ならではの良さがある。」という言葉が印象的でした。

「絵と文字」で表現することを得意としているお二人なので、これからの授業が楽しみです。



続いては講師と受講生全員で絵を使って自己紹介をすることに。「自分の似顔絵」と「好きな〇〇（モノ・コトなど）」を5分間で紙に書いていきます。自分の顔を描くのは結構難しいと思うんですが、「絵は苦手～」と言いながらも、皆さん迷いなく描き進めていました。

似顔絵が完成したら、みんなで似顔絵当てクイズ。

くじ引き方式で1枚ずつ似顔絵を引いて、引いた人がその似顔絵を紹介します。そして、書いたと思う人を「せ~の」で指さします。ほとんどが満場一致だったので、皆さんご自身の特徴を上手く絵にできていたのですね。似顔絵もですが、「好きな〇〇」に皆さん興味津々。たくさん質問が飛び交って、楽しく親睦を深めることができました。



次回の授業は、かるたのネタ探しに地域のフィールドワークを行います。そのための下調べをしていただくことが宿題となりました。